

第8回岡谷諏訪総合技術新校再編実施計画懇話会

日時：令和8年1月27日（火）

午後5時30分～午後7時

会場：諏訪市役所

大会議室（5階）

次 第

1 開 会

2 挨 拶

3 会議事項

（1）第7回岡谷諏訪総合技術新校再編実施計画懇話会まとめ

（2）校地検討部会報告

（3）再編実施基本計画（案）に係る意見交換

学びのイメージ、設置課程、設置学科について

4 その他

次回の予定 調整中

5 閉 会

新校再編実施計画懇話会開催要綱

（目的）

第1 県教育委員会が、統合新校ごとの再編実施計画を策定するにあたり、再編対象校に加えて、対象校が所在する地域の意見を聴くため、「新校再編実施計画懇話会」（以下、「懇話会」という。）を開催する。

なお、懇話会は、地方自治法第138条の4第3項の規定に基づき、法律又は条例により設置された附属機関ではないものとする。

（会議事項）

第2 懇話会は、次の事項について意見交換を行う。

- （1）学校像、教育方針等に関する事
- （2）校地・施設・設備等に関する事
- （3）管理運営等に関する事
- （4）教育内容等に関する事
- （5）その他、県教育委員会が必要と認める事項に関する事

（構成員）

第3 懇話会の構成員は、統合対象校の学校関係者（校長、教職員等）、地域の代表（自治体関係者、産業界の代表等）、同窓会、PTA、生徒の代表等とし、必要に応じ、県教育委員会が依頼する。

2 会議に座長を置く。

（開催期間）

第4 会議は統合新校が開校するまでの間、開催するものとする。

附 則

この要綱は、令和2年10月26日から施行する。

岡谷諏訪総合技術新校再編実施計画懇話会構成員名簿

(敬称略) 下線 新構成員

○ 座長

		氏名 (座長○)	所属等	役職等
1	自治体	藤澤 正	岡谷市	副市長
2		後藤 慎二	諏訪市	副市長
3		宮坂 享	岡谷市教育委員会	教育長
4		三輪 晋一	諏訪市教育委員会	教育長
5		山田 典史	下諏訪町教育委員会	教育長
6	産業界	高木 克彦	岡谷商工会議所	副会頭
7		白鳥 和美	諏訪商工会議所	副会頭
8	学識経験者	○市川 純章	公立諏訪東京理科大学	地域連携総合センター長
9	地域	宮坂 和幸	セイコーエプソン株式会社人的資本・健康経営本部	総務部長
10		高林 千幸	岡谷蚕糸博物館 (シルクファクトおかや)	館長
11		竹花 顕宏	諏訪地域振興局	局長
12	同窓会	小松 壮	(一社) 岡谷工業高等学校同窓会	理事長
13		木村 明美	諏訪実業高等学校同窓会	副会長
14	定時制振興会	山田 幸男	定時制振興会	会長
15	P T A	宮坂 征和	岡谷工業高等学校 P T A	P T A 会長
16		宮川 美咲	諏訪実業高等学校 P T A	P T A 会長
17		田畑 幸司	岡谷市 P T A 連合会 代表	会長
18		佐藤 太郎	諏訪市 P T A 連合会 代表	会長
19	小中学校等 関係者	飯嶋 政泰	諏訪小学校長会 代表	長地小学校長
20		増村 隆洋	諏訪中学校長会 代表	諏訪,南中学校長
21		高坂慎太郎	諏訪養護学校	教頭
22	再編対象校	高木将太郎	岡谷工業高等学校	生徒会長
23		蛭間聡一郎	岡谷工業高等学校	生徒会副会長
24		橋詰 正克	岡谷工業高等学校	校長
25		清水 哲	岡谷工業高等学校	教職員
26		小池 拓斗	諏訪実業高等学校	生徒会長
27		スズキヒロミ	諏訪実業高等学校	生徒会副会長
28		有賀 浩	諏訪実業高等学校	校長
29		馬場美江子	諏訪実業高等学校	教職員

【事務局】

学校名	氏 名 (役職等)	氏 名 (役職等)
岡谷工業高等学校	(教頭) 飯島 健二	
	(教諭) 御子柴 久雄、見波 泰、山口 隆、小池 作治、清水 哲	
諏訪実業高等学校	(全日制教頭) 楯 和弘、(定時制教頭) 山本 正和	
	(教諭) 現田 康太郎、馬場 美江子、小川 淳子	

	氏名	所属等	役職等
県教育委員会	柳沢 勝美	高校教育課 高校再編推進室	主幹指導主事
	宮嶋 直美	高校教育課 高校再編推進室	主任指導主事
	高橋 正俊	高校教育課 高校再編推進室	主任指導主事
	依田 奈弓	高校教育課 高校再編推進室	主事
	宮沢 悠太	学びの改革支援課	指導主事

第7回 岡谷諏訪総合技術新校再編実施計画懇話会まとめ（案）

日 時	令和7年9月29日（月）17時30分～19時00分		
場 所	諏訪湖ハイツ コンベンションホール		
出 席 （敬称略）	藤澤正、後藤慎二、宮坂享、三輪晋一、山田典史、森優、◎市川純章、宮坂和幸、高林千幸、竹花顕宏、小松壮、木村明美、山田幸男、田畑幸司、佐藤太郎、飯嶋政泰、増村隆洋、高坂慎太郎、中嶋健太、村田秀斗、橋詰正克、清水哲、濱蒼太、西川みく、有賀浩、馬場美江子、以上26名（うちオンライン1名含む）		
欠 席 （敬称略）	白鳥和美、宮坂征和、宮川美咲、 以上3名	傍聴者	5名（うちオンライン2名含む） 報道関係 4社
事務局	岡谷工業高校	飯島教頭、御子柴教諭、見波教諭、山口教諭、小池教諭、清水教諭	
	諏訪実業高校	楯教頭（全日制）、山本教頭（定時制）、現田教諭、馬場教諭、小川教諭	
当日資料	第7回懇話会資料、先行事例報告資料、会場配置図		

会議事項

- （1）第6回岡谷諏訪総合技術新校再編実施計画懇話会まとめ
- （2）校地検討会議報告
- （3）先行事例視察報告
- （4）学びのイメージに係る意見交換

意見交換（概要）→事務局 →座長

- （1）第6回岡谷諏訪総合技術新校再編実施計画懇話会まとめ 質問意見なし
- （2）校地検討会議報告 質問意見なし
 - 山田典史部会長を選出。
 - 校地検討を進めるにあたっての視点、観点について意見交換を行った。出されたご意見をもとに検討する観点を整理し、必要な情報をまとめ、引き続き検討していく。
- （3）先行事例視察報告
 - 先行事例視察報告 ①埼玉県立新座総合技術高校、埼玉県立越谷総合技術高校 ②長野商業高校定時制
 - 意見交換
 - ・教員間の連携についてどういう観点で連携が必要か。
 - 工業の教員はなかなか物を売れない。商業の教員は物を作るということはあまりやらない。これまでの懇話会でも総合ビジネスハイスクールという話題もあったが、そのような部分での連携が必要になってくる。工業と商業など、教員同士での横のつながりを考慮したカリキュラムのデザインが必要。
 - ・学びのイメージに、いろいろなものを盛り込んでも、結局、現場でうまく繋がりがつくれないということがあるので、連携も考慮してカリキュラムのデザインが必要である。それぞれの教員が扱う内容が重複したり、空白ができないように、何を扱っているのかなどの細かい連携があったほうが良い。
 - ・視察した学校は統合してできた学校か。
 - 2校とも新設校である。
 - ・新座総合技術高校のノーチャイム制はうまくいっているか。
 - 導入当初は職員に戸惑いがあったが、現在、生徒は時間を見て行動していて支障はないと聞いている。
 - ・埼玉県の両校と長野商業高校定時制の募集状況の推移が分かれば知りたい。
 - 調べて次回報告する。
 - ・新座総合技術高校はカリキュラムの中にデザイン科の学びもあって、さらにデザイン専攻科があるのか。また専攻科に進む生徒の目的は何か。
 - 高校に工業系のデザイン科と服飾デザイン科があり、専攻科に進んでいる生徒は4%である。専攻科を選んだ目的は分からないので次回報告する。
 - ・長野商業高校定時制の単位制の導入時期と3年で卒業する生徒の割合は。
 - 確認して次回報告する。

(4) 学びのイメージに係る意見交換

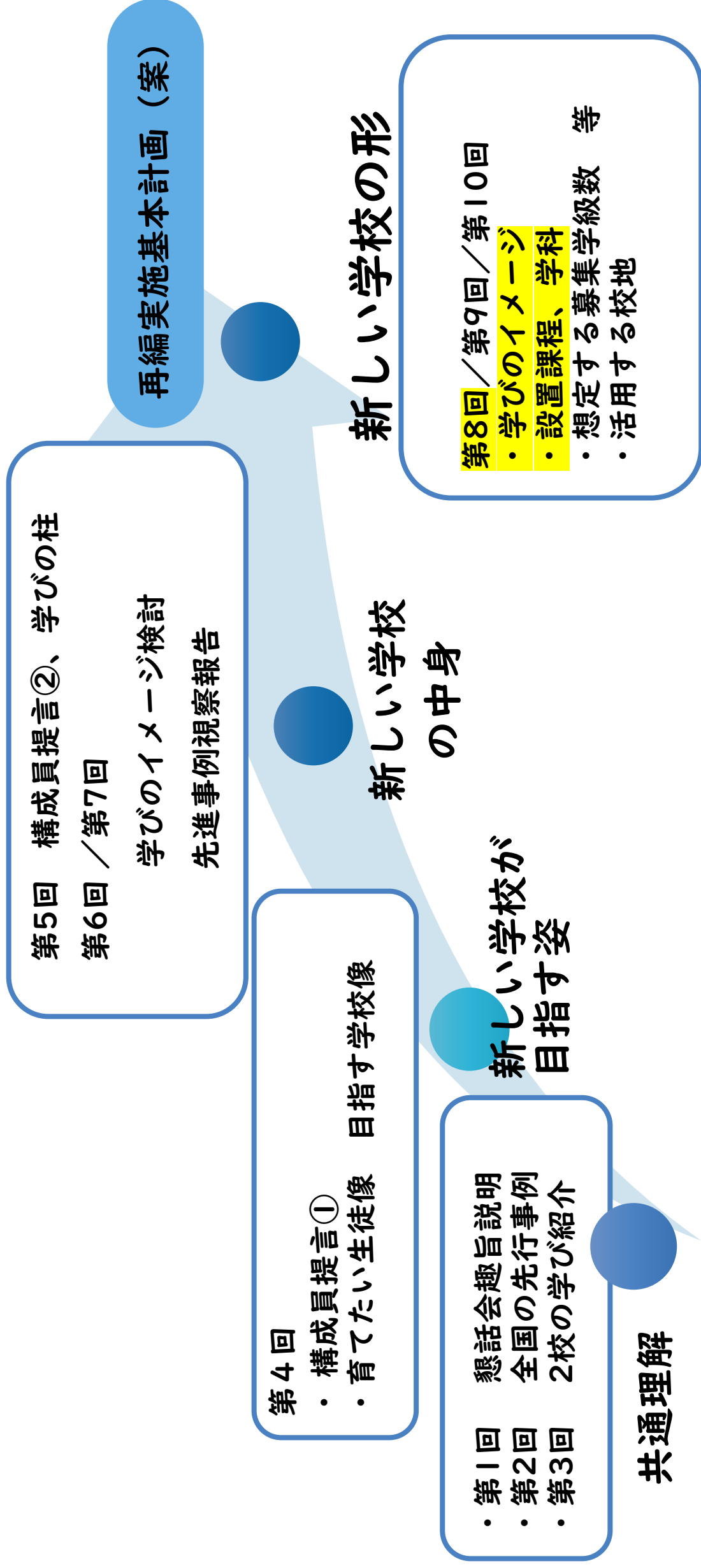
- ・長野商業高校の単位制にはホームルームがないが、生徒がお互いに支え合ったり、交流し親交を深める場はあるのか。
→年度生というまとまりがあり担任もいる。担任が相談にのったり、年度生単位で生徒会活動や行事を行う。さまざまな交流ができる自由な部屋があるため、年度生同士の交流も深まっている。さらに他の年度生と趣味などでつながっているコミュニティもかなりある。
- ・岡工、諏実も部活動でスポーツに特徴があり、子どもが学校を選ぶきっかけの一つに、部活動で全国大会を目指したいということがある。スポーツ学科とまでは言わないが、公立高校として、これまでの両校の部活動の特徴を生かして欲しい。
- ・ラグビーのグラウンドやバレー部の寮や専門科の設備はどうなるか。
→新校にどのような学びが必要なのかが決まって、それを実現するために、どちらの校地がよいかということも含めて施設整備はこれからの検討となる。
- ・総合選択は何時間ぐらいあるのか。総合選択で選択した科目が自分に向かなかった場合どう対応するか。
→総合選択の時間や具体的なことは今後の検討事項である。
- ・服飾科はファッションショーや成果発表があり、新校でさらに他の授業をやることに不安がある。
→3年間の授業時間は限られているため、現在の学びに追加するというより、学ぶ内容を組み替えたり、取り入れたり、削ったりするイメージである。
⇒施設整備は今後、検討していく。学びのイメージは例であるが、生徒からは学ぶ内容を盛り込みすぎることで、詰め込み過ぎになるのではないかという不安の声があることを確認できたと思う。
- ・学科横断で探究プロジェクトを進めていくには、1～3年までミックスホームルームにすることで、探究の授業以外でも、プロジェクトに取り組む時間や雰囲気ができるのではないか。
⇒ホームルームは同じ勉強をする人の単位という固定観念があるが、長野商業定時制のようにホームルームとは別のコミュニティがあるような柔軟性があってもよいのではないか。
- ・各校のアイデンティティとなる取組について、生徒の意見も踏まえながら、位置づけを考える必要があると思った。特別支援や不登校経験など多様な背景や、異なる価値観を持つ人々と協調できる機会をつくるのが大事だと感じている。新しい学校で一つの校舎の中に全日制と定時制があることのメリットを生かして、柔軟なシステムも考えられたらよい。
→どのような取組ができるか、先進校の視察で得た知見も参考にしながら、定時制の生徒が安心して学べる環境を整えることも含めて検討していきたい。
- ・地域や企業、大学との連携に加え、先進事例の報告にあった社会人講師の活用が印象に残った。実践的で生きた学びにつながる点に関心を持った。「企業大学」という表現よりも、「地域・企業・大学」と三つに分けて連携を示す方が適切ではないか。
→「企業と大学」という表現に修正する。社会人講師についての記載を検討する。地域との連携については、現在の連携の取組も活かしながら、今後、連携の仕組みを作っていきたい。

その他

【次回】

調整中

「再編実施基本計画（案）」策定スケジュール



先進事例視察（補足資料）

1. 募集人数と入学者数の推移 (人)

	R7		R6		R5		R4		R3	
	募集人数	入学者数	募集人数	入学者数	募集人数	入学者数	募集人数	入学者数	募集人数	入学者数
新座総合技術	電子機械	40	39	40	39	40	39	40	40	36
	情報技術	40	40	40	40	40	40	40	40	40
	デザイン	40	40	40	40	40	40	40	40	40
	服飾デザイン	40	40	40	40	40	40	40	40	31
	食物調理	40	40	40	40	40	40	40	40	40
	総合ビジネス	40	39	40	39	40	39	40	40	31
越谷総合技術	電子機械	40	39	40	34	40	34	40	40	39
	情報技術	40	40	40	40	40	40	40	40	40
	流通経済	40	37	40	40	40	35	40	40	37
	情報処理	40	37	40	39	40	39	40	40	28
	服飾デザイン	40	32	40	36	40	31	40	40	27
	食物調理	40	40	40	40	40	39	40	40	40
長野商業高校	定時制	40	14	40	18	40	12	40	40	12

2. 長野商業について

(1) 単位制の導入年度

平成8年度から導入

(2) 3年間で卒業する生徒（三修制）

(人)

R6		R5		R4	
生徒数	3修制生徒数	生徒数	3修制生徒数	生徒数	3修制生徒数
14	11	12	7	16	6

地域とともに未来を創るものづくり教育 「創造」と「挑戦」の学び舎

2

VOL.

生徒一人ひとりが自分の「やってみたい」を見つけ、自ら考えて挑戦し、夢の実現を目指す学校です。商業・工業・家庭の分野を専門的かつ横断的に学び、地域をフィールドに企業・自治体・大学・地域の人々と連携した実践的な学びで、柔軟な心と豊かな人間性を育て未来の社会を支える人材を育成します。

目指す学校像

- ▶ 専門性を高めるとともに、学科の枠を越えた連携や学びの融合を通して、生徒一人ひとりの「夢」を「現実」にできる学校。
- ▶ 一人ひとりを大切に、互いに認め合い、柔軟な心と豊かな人間性、社会性を育む学校。
- ▶ 実社会や地域産業、大学と連携して、実践的な課題解決プログラムに取り組み、持続的発展のために環境問題・社会課題に挑む人材を育てる学校。

育てる生徒像

- ▶ **自ら考え、挑戦するひと**
自ら考え何事にも一生懸命に取り組める生徒。壁を乗り越える実行力と挑戦への意欲を持ち、学びを深めて学びつづけるひと。
- ▶ **専門性の上に、広い視野を持ち、新たな「価値」「もの」を創造するひと**
専門の学びと、他の分野に触れる機会を通して、多角的な視点を持つことで広い視野を持ち、「価値」「もの」を創造するひと。
- ▶ **豊かな社会性と人間性をもったひと**
多様な他者との関わり学びあう中で、豊かなコミュニケーション力を身につけ、互いを尊重しながら協働的に課題に取り組むことができるひと。
- ▶ **地域の未来を支え貢献できるひと**
自主・自立・主体的に学が姿勢を大切に、地域と共に学び地域への思いを育み、未来の社会を支え貢献できるひと

学びの柱

- ▶ 専門的な学びと分野横断的な学びから多角的な視点と、と広い視野を持ち、幅広い知識とスキルを身につける学び。
- ▶ 地域をフィールドに、地域と連携した実践的な実走する学びを通して技術と創造性を育む学び。

学びの連携融合 分野横断的な学び

～問を持ち本質に迫る学びで新しい可能性を切り開く～
探究協働プロジェクト（1～2年）から課題研究（3年）へ深化
ビジネス基礎科目（1年全員が履修）
生徒による魅力の発信情報発信・企画
❖ 学びの交流が生まれる空間 ・フレキシブルでゆとりのある空間



エネルギー・制御
加工・組立・通信・回路
工業デザイン
ネットワーク
プログラミング
AI・ロボット

多様な進路に対応する柔軟な学び

～「好き」を見つけ極める～
他学科の学びを学べる「総合選択科目」科目群
専門家（本物）と出会うキャリア教育
学校間連携・インターンシップなどの柔軟な単位認定
専門的な資格取得

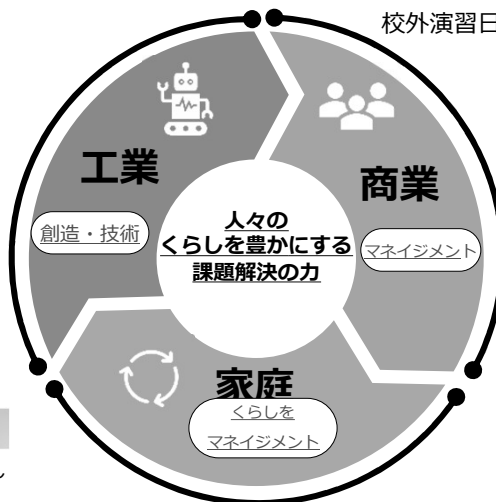
地域と企業大学と連携する実践的な学び

学校が協働する**地域連携コンソーシアム**の構築
校内に❖**地域連携協働室**を設置し**地域連携コーディネーター**の配置により企業・大学・地域との連携の強化。
❖ **地域と生徒、誰もがアクセスしやすい学びあう空間**
地域に飛び出し探究・フィールドワークができるしくみ
校外演習日 校外実習の単位認定
❖ **「モノづくり工房」** ❖ **「くらしラボ」**
地域課題に寄り添うプロジェクト 小中学校出前講座
未来社会の担い手を育てる“高校生万博”

マーケティング
ビジネス
会計
簿記

多様な人間関係・交流の促進

～幅広い出会い、安心できる居場所～
ミックスホームルーム（1年次）
学年・学科に縛られない**合同ゼミ**
❖ **開かれた交流スペース**



ファッションデザイン
服飾手芸・造形



地域とともに未来を創るものづくり教育 「創造」と「挑戦」の学び舎

検討原案

3

VOL.

生徒一人ひとりが自分の「やってみたい」を見つけ、自ら考えて挑戦し、夢の実現を目指す学校です。商業・工業・家庭の分野を専門的かつ横断的に学び、地域をフィールドに企業・自治体・大学・地域の人々と連携した実践的な学びで、柔軟な心と豊かな人間性を育て未来の社会を支える人材を育成します。

目指す学校像

- ▶ 専門性を高めるとともに、学科の枠を越えた連携や学びの融合を通して、生徒一人ひとりの「夢」を「現実」にできる学校。
- ▶ 一人ひとりを大切に、互いに認め合い、柔軟な心と豊かな人間性、社会性を育む学校。
- ▶ 実社会や地域産業、大学と連携して、実践的な課題解決プログラムに取り組み、持続的発展のために環境問題・社会課題に挑む人材を育てる学校。

育てる生徒像

- ▶ **自ら考え、挑戦するひと**
自ら考え何事にも一生懸命に取り組める生徒。壁を乗り越える実行力と挑戦への意欲を持ち、学びを深めて学びつづけるひと。
- ▶ **専門性の上に、広い視野を持ち、新たな「価値」「もの」を創造するひと**
専門の学びと、他の分野に触れる機会を通して、多角的な視点を持つことで広い視野を持ち、「価値」「もの」を創造するひと。
- ▶ **豊かな社会性と人間性をもったひと**
多様な他者との関わり学びあう中で、豊かなコミュニケーション力を身につけ、互いを尊重しながら協働的に課題に取り組むことができるひと。
- ▶ **地域の未来を支え貢献できるひと**
自主・自立・主体的に学ぶ姿勢を大切に、地域と共に学び地域への思いを育み、未来の社会を支え貢献できるひと

学びの柱

- ▶ 専門的な学びと分野横断的な学びから多角的な視点を持つことで、広い視野を持ち、幅広い知識とスキルを身につける学び。
- ▶ 地域をフィールドに、地域と連携した実践的な実走する学びを通して技術と創造性を育む学び。

学びの連携融合 分野横断的な学び

ビジネス基礎科目を1年全員が学ぶ

探究協働プロジェクト（学科ミックス）から課題研究へ深化

機械・電気・情報の力を組み合わせて未来を動かす技術者へ。

～ものづくりの基本、エネルギーと制御、デジタル技術を学びます。それぞれの技術を融合し、ロボットやスマート社会を支える技術者を目指します～

これまでの学び → 新校の学び

専門性を追求し、地域や大学との連携を通じた技術者の育成

・地域企業との共同プロジェクトの実践。
・産学連携による課題解決型学習（PBL）の実践。
（例）
企業と共に商品開発、自治体と企業、大学の学生と共に工業の魅力発信、地元技術者との交流

多様な進路に対応する柔軟な学び

他学科の科目を学べる「総合選択科目」

専門家（本物）と出会うキャリア教育

学校間連携・インターンシップ等の柔軟な単位認定

専門的な資格取得

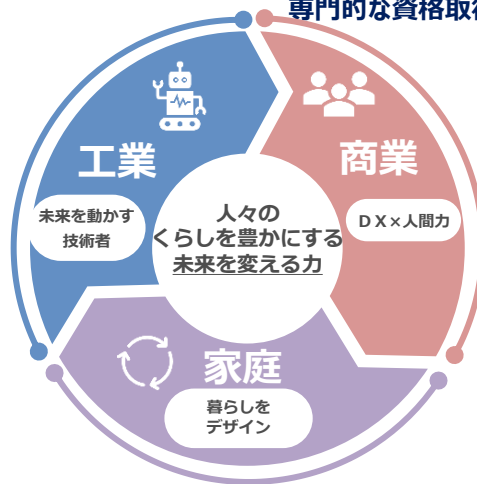
ビジネスとITで地域を創造し、豊かな社会と未来をつくる人材の育成

～ビジネスを学び、コンピュータ活用能力と情報アプリケーション開発、情報システムを企画、設計・運用できる人材の育成を目指します～

これまでの学び → 新校の学び

簿記会計・マネジメント・情報の各分野ごとの学び

・新たな仕組みと技術で世界を創造する学び
・ビジネス活動に役立つデータ分析、データ活用に関する学び
・現実のフィールドに飛び出す実践的な学び



個性を表現する1着を描き、作り上げる技術力をつける

～服飾に関する学びを通して感性を磨き、創造力、表現力、行動力を身につけ、様々な分野で活躍できる人を育てます～

多様な人間関係・学びの交流の促進

ミックスホームルーム

❖ 開かれた交流スペース

学年・学科に縛られない合同ゼミ

❖ 学びの交流が生まれるフレキシブルでゆとりのある空間

これまでの学び → 新校の学び

検定取得や、習得した知識、技術を生かした衣装製作

・専門家や地域の人材による専門性の高い学び
・アパレルCADの活用
・環境に配慮し、地域と協働する学び

地域・企業・大学と連携する実践的

地域連携協働室

地域を中心とした連携コンソーシアム

❖ 地域と生徒、誰もがアクセスしやすい学びあう空間

校外演習日 校外実習の単位認定

君たちの未来へ 可能性を伸ばそう

～ 一人ひとりの個性が「ハーモニーを奏でる」学校、定時制（普通科）

【目指す学校像】

- ▷生徒一人ひとりの個性を尊重する、安心・安全な居場所となる学校。
- ▷相手を尊重し、自己を肯定できる心を養い、地域社会で自立できる人材を育てる学校。

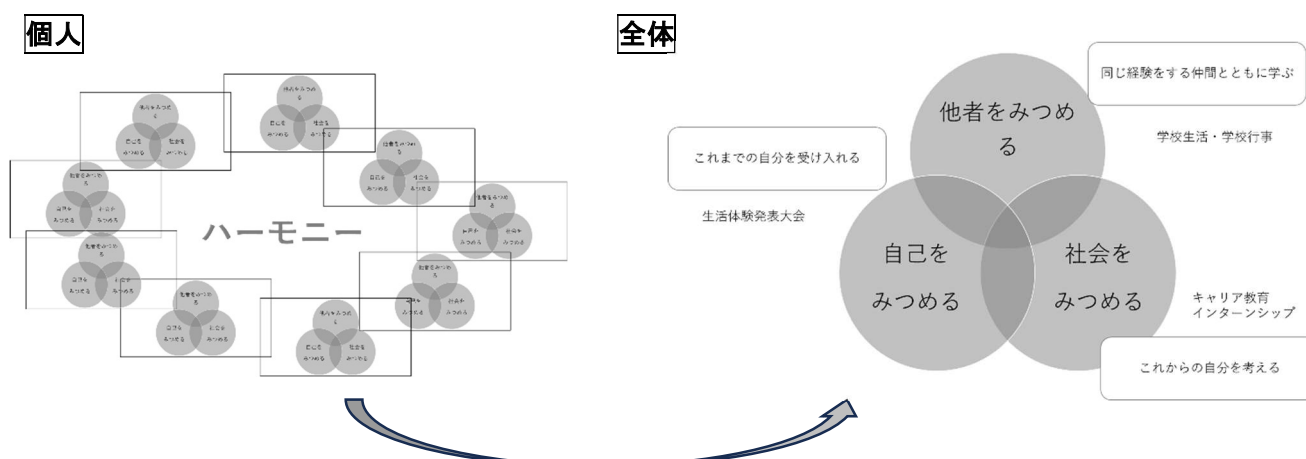
【目指す生徒像】

- ▷自分の未来に向け「なりたい自分」を築き上げ、その実現のために可能性を伸ばし、自分の能力を高め努力することができるひと。
- ▷多様化する社会において、異なる価値観を持つ人々とも協調して物事に取り組むことができるひと。

【学びの柱】

- ▷地域との連携やキャリア教育など社会との関わりでの学びから、生徒一人ひとりが自分に合った将来的な人生設計や職業観を育む学び。
 - ・習熟度別講座（数学・英語）やT T（ティームティーチング）講座の開設、ゆったりとした教室環境の中で、きめ細やかで面倒見のよい教科指導を行い、基本的な知識を身につけます。
 - ・漢検・英検・商業検定・数検など、進路につながる資格取得を目指すことで、挑戦する心を持ち自分の能力を高めようとする力を身につけます。
 - ・就職や専門学校・短期大学・４年制大学進学など、さまざまな進路に応じたキャリア教育、全日制進路室との連携を通じて、豊かな人間性や社会と関わる力を身につけます。
- ▷普段の学校生活や学校行事での学びから、対人コミュニケーション力を身につける学び。
 - ・学年を越えた学校全体での諸行事や生活体験発表大会を通じて、自己理解を深め、他者とのコミュニケーション能力を高め、お互いに励ましあい協力できる、よりよい人間関係の形成を行います。
 - ・意欲的に校友会（生徒会）活動・学級活動・クラブ活動などに取り組むことによって、個人としても集団としても成長することを目指します。
 - ・学校生活に不安を抱える生徒に対し、個々のニーズに応じた丁寧な支援・相談を行うとともに、さまざまな機関とも連携してサポートしていきます。

【学びの仕組み】 一人ひとりの個性が「ハーモニーを奏でる」学校（イメージ）



君たちの未来へ 可能性を伸ばそう 一人ひとりの個性が「ハーモニーを奏でる」学校

2
VOL.

生徒一人ひとりが「なりたい自分」を見つけるために、自ら考えて努力し、自己実現を目指す学校です。生徒の個性を尊重し、安心・安全な居場所をつくることで、生徒のペースに合った学びを目指すとともに、多様な仲間と接することで柔軟な心と豊かな人間性を育て、未来の社会を支える人材を育成します。

目指す学校像

- ▶ 生徒一人ひとりの個性を尊重する、安心・安全な居場所となる学校。
- ▶ 相手を尊重し、自己を肯定できる心を養い、地域社会で自立できる人材を育てる学校。

育てる生徒像

▶ 自ら考え、挑戦するひと

自分の未来に向け「なりたい自分」を築き上げ、その実現のために可能性を伸ばし、自分の能力を高め努力することができるひと。

▶ 豊かな社会性と人間性をもったひと

多様化する社会において、異なる価値観を持つ人々とも協調して物事に取り組むことができるひと。

学びの柱

- ▶ 柔軟でゆとりあるカリキュラムによる一人ひとりの生活・学習スタイルを大切にした学び
- ▶ 様々な選択肢がある学校設定科目による主体的でわかる学び
- ▶ 体験を通じて、人・社会とのつながる学びで、多様な価値観に触れながら自分を見つめる学び、キャリア教育

ゆとりある柔軟なカリキュラム ～多様な学びの選択肢～

▶ 個々の状況や進路に応じた柔軟な学習のしくみ。
(3年間での卒業、ICTを活用し、一人一人の理解度や学習状況に応じた学び)

▶ 多様な学校設定科目による興味・関心や学習ニーズに応じた学び
(基礎から丁寧に学び直す科目、コミュニケーションスキルを育成する学習、工業・商業・家庭科の施設を活用した実践的な学びなど)

選べる学び
わかる学び

できる喜びから
自立へ

サポート体制

人との
かかわり

キャリア教育の充実

～人つながり自分を見つめる～

▶ 自己理解を深める体験活動
(学年を越えた活動、行事
地域の人との交流)

▶ これからの生き方を考える学び
(先輩の話、企業見学など)

▶ 多様で柔軟な単位認定
(行事への参加、アルバイト、ボランティア活動等 (研究中))

安心して学べるサポート体制

・居場所を選べる ゆとりある空間とつながりの場

・メンター相談日 学校の職員以外からのサポート
保健師、大学生など